

地域を知り、地域の方から学ぶ

10月27日、16講座18名の講師の方々をお迎えし、本校の伝統行事『地域公開講座』が開催されました。講師の方々は、学区内にお住まいの方や本校にご縁のある方で、長年にわたりお力添えをいただいている講師の方もいらっしゃいます。そして、生徒だけでなく、本講座を楽しみにされている保護者や地域の方もいらっしゃり、多くの方々の参加もいただきながら生徒と共に充実した時間を過ごされていました。地域の方のお陰で充実した学校生活を送れている西部中学校です。



【自ら啓く(日記)から】(3年女子)

10月27日、3年生にとって最後の「地域公開講座」がありました。私は、着付け教室をやりました。初めて着付けをやるので教えてもらいながらやったのですがとても難しかったです。しかし、着ることができた時は、嬉しかったです。先生に「かわいいよ。似合うね。」と言われた時はものすごく恥ずかしかったのですが、内心嬉しかったです。講師の先生とも話ができたし仲良くできて、とても楽しかったです。またいつか(今度は一人で)着られたらいいなと思いました。

11月1日、「学校周辺地域での奉仕活動を行い、地域に貢献する経験を得る」ことを目的に、全校で校外に出ました。登下校や普段の生活で大変お世話になっている私たちの地域に、感謝の気持ちを伝える、こちら本校が大切にしている行事の一つです。活動場所によっては、地域の方が事前に準備してくださったり一緒に活動してくださり、この地区の未来を担う西部中生の姿を理解していただく大切な機会にもなっていました。1時間くらいの活動時間でしたが、生徒にとっては奉仕活動に精一杯取り組み心を磨きながら地域とのつながりをつなぐ貴重な時間となりました。【“〇〇のために動ける・働ける・考えられる”ことに喜びを感じられる人が増えると、校内が明るく優しくなりますよね】



1学年は妻科神社に行き、私たちはプランターに球根と苗を植えるのと落ち葉拾いをしました。最初は正直長そうに嫌だと思っていましたが、意外とあっという間でもっとやりたいぐらいでした。清掃だけでなく、あいさつなどでも地域の方々と関わっていきたくです。(1年女子)

地域清掃がありました。うるおい館の近くの八幡川へ行きました。落ち葉拾いなどをするととてもきれいになりました。地域の人と掃除ができてよかったです。(2年女子)

今日、地域清掃がありました。ていねいに協力して落ち葉拾いや草集めができました。楽しかったし恩返しが少しできたかなと思いました。(2年女子)

全国学力・学習状況調査の結果と対応

3学年で実施された全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。本年度は、国語A・B、数学A・B（A＝主として知識、B＝主として活用）は、いずれも全国・県の平均正答率を下回りました。問題別に見ると、国語の「事実と考えの関係に注意し、文章の構成を工夫する」「相手にわかりやすいように語句を選択して話す」設問は、正答率が全国・県平均を上回っていました。文章の内容を考えたり、文章を工夫して表現する能力は全国平均より高い実態が伺えます。

一方、課題としては、次のことがありました。

- | | |
|---------|--|
| 【全体】 | <ul style="list-style-type: none">・B問題については全体的に力を高めていく必要があります。・活用問題にすべてに共通する、長文の設問から問題の意図を読み取ることを苦手とする傾向が伺えます。 |
| 【国語】 | <ul style="list-style-type: none">・基本的な語句の知識（漢字の書き読み）が不足している様子があります。
「比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く」「スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直す」設問では、全国・県と同様に正答率が低く、無解答率が高いことから、「相手や聞き手の立場に立って」「わかりやすく」「適切な表現方法を選んで」自分の考えを伝えたり、文章にする力が不足していることが伺えます。 |
| 【数学】 | <ul style="list-style-type: none">・基本的な公式があいまいになっているところがあります。
等式を目的に応じて変形させたり、具体的な場面から方程式を作ったりする設問の正答率が低く、式を必要に応じて活用していく力が不足していることが伺えます。
「与えられた条件（資料・事象・表・グラフなど）を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明する」設問では、正答率が低く、条件を用いて筋道を立てて説明する力（文章化する力）が不足していることが伺えます。 |
| 【生徒質問紙】 | <ul style="list-style-type: none">・地域や社会の問題に興味を持ったり、自分の役割について考えたりすることが少ない傾向が強いです。・自分の考えを発表することが少なく、考えを発表したいという意志が弱い傾向が強いです。・共感的に理解したり、折り合いをつける力が低い傾向が強いです。 |

以上のことから、国語や数学の授業だけでなく、他教科や様々な教育活動の中において、以下のことを大切にしながら取り組んでいきます。

1 「わかる」「できる」を味わえる授業づくり

授業の中で「わかった」「できた」を実感することは、学習意欲や自尊感情が高まることにつながります。生徒一人ひとりが、自分の考えを発信（言語化や文章化など）しながら、達成感や満足感を味わうことができる授業づくりを心がけ、指導方法・授業計画・教材のあり方などを見直していきます。

2 友と学ぶ集団づくり

授業は、生徒と教師が作り深めていくものです。「学習規律（わたしたちの学習、西部中学校五訓）」や「学習の雰囲気」を大切にしながら、仲間と共に学びを深められるよう授業の中にグループやペアによる話し合い活動を入れたり、多様な意見を聞き合ったり折り合いをつけたりする経験を積み重ねていきます。

3 個に応じた指導

主体的に学習しようとする生徒のニーズに対応し、学習時間の確保、学習相談の時間を更に充実させていきます。また、生活ノート（自ら啓く）の充実を図り、自分の考えを文章化する力の育成に努めます。

【具体的な取り組み】

- ・テスト前の学習相談
- ・進路学習に向けた朝学習
- ・夏休みの自習室解放
- ・朝ドリルの充実
- ・休み時間、放課後の個別学習相談
- ・学習チューター（信大教育学部生9名、授業補助・放課後学習室）

4 学校の枠にとどまらない地域とのつながりを考えた取り組み

りんどう祭や地域清掃、地域公開講座など学校内でとどまらない活動を大切にしていきます。教師だけでなく、地域の大人とかかわる活動を通して、生徒だけでなく地域の一構成員として活動したり、人間関係を作ったりしていく力の育成に努めます。